

# JR東海労ニュース

No.1079

2008年7月30日

JR東海労働組合

**職場問題を解決しよう！シリーズ⑤**

パーフェクトクルー

## **PC守れば列車は遅れる！ 定時運転できるダイヤを設定せよ！**

静岡支社では、最近PC（パーフェクトクルー）運動なるものを強制している。PC運動とは、運転中や乗り継ぎ時の基本動作や服装や身だしなみなどを完璧でやるという運動である。具体的には、基本動作は指の曲がり具合や敬礼の腕の角度までチェックされ、軍隊のようである。管理者は、「乗客に基本動作を見せるもの」と指導しているが、本来の基本動作の目的はミスや事故を発生させないための確認行為である。いつのまにか、見栄えの問題にすり替えられてしまったのである。言うなれば、パーフェクトではなくパフォーマンスである。

さて、このPC運動に沿って基本動作をすれば、30秒停車でドアの開く実質時間はわずか10秒足らずだ。20秒は基本動作の時間である。しかし、東海道本線の停車時分は15秒。どうしたって列車は遅れるのである。会社は「回復できるところで回復してほしい」と言うのだが、一部の列車や早朝・深夜時間帯などは回復できるような時間設定にはなっていない。乗務員にしてみれば、この慢性的列車遅延が相当なプレッシャーになっている。あの福知山線はダイヤに余裕がなかった。事故原因のひとつとして、そのようなダイヤ設定が問題視された。JR東海は一体何を教訓化したのだろうか。「日勤教育」もさらに厳しくなっている。

一方、静岡支社のダイヤは乗客のニーズに逆行している。例えば、静岡～熱海間の列車は極端に少ない。さらに2本に1本は、下りは富士、上りは興津が終着で利便性が非常に悪い。この苦情は絶え間なく続く。さらに車両はロングシート（お見合い席で座席数が少ない）の上、編成も短い。トイレなしの列車も健在である。乗務員は乗客から「ボックス席はないのか！」「トイレくらいつけろ！」と毎度毎度叱られる。

会社がPC運動をやれば苦情はなくなると思ってるとしたら大間違い。私たちは、職場から、PC運動の撤廃、ダイヤの根本的見直しと、車両の改善を求めている！

**ダイヤも車両も乗客には不評！  
静岡支社は「乗せてやる」感覚なのか？**